

SSKO

NPO法人 共に歩む市民の会



会 報

2023年11月20日 発行

共に歩む市民の会広報委員会

横浜市旭区鶴ヶ峰 1-29-1

☎045-453-8386

<http://tomoni-people.net>

生活支援センターほっとぽっと移転に際して

旭区高齢・障害支援課長 國分 忠博

このたびは生活支援センターほっとぽっとの御移転、誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

旭区は、多くの障害のある方が居住されており、精神障害者保健福祉手帳所持者数が市内5位、障害福祉サービス支給決定者数は市内1位です。また、区内に6か所の精神科病院があり、市内の精神病床数の約27%を占めています。これはともに市内1位です。

このような旭区で、貴センターは、横浜市の精神障害者生活支援センターB型第1号として2005年2月に開設されました。これまで旭区の精神保健福祉の増進に御尽力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

運営法人である「特定非営利活動法人 共に歩む市民の会」は、生活支援センターほっとぽっとの前身であるフリースペース「たまり場」を運営していくために、1997年に設立、2004年に法人化されたと聞いております。今日、旭区内外を問わず関係機関や地域の方々に関わり様々な取組が行われていますが、このように「ほっとぽっと」に多くの方が集うのは、「たまり場」からずっと運営を支え続けてきた、共に歩む市民の会の裾野の広い活動によるものだと思います。

「ほっとぽっと」に目を向けますと、相談機能と居場所機能を大きな軸として、様々な支援が行われています。昨今、障害や家庭状況などが複雑化し、支援が難しい相談が増えています。そのような中で、制度の進化に対応しつつ、区役所・基幹相談支援センターと連携しながら、丁寧な個別支援やアウトリーチ、退院支援、計画相談に注力されています。また、それに加えて、旭区地域自立支援協議会の運営などの地域づくり、精神保健福祉セミナーに代表されるような様々な普及啓発活動を展開されています。これらの活動により、精神障害者をはじめとする多くの障害者の地域での生活が支えられています。今回の御移転によりまして、施設面では生活支援センターA型と同規模となり、諸活動がさらに充実されることを、大いに期待しております。

さて、横浜市では、令和3年度から6か年計画で「第4期横浜市障害者プラン」を策定しました。このプランでは『障害のある人もない人も、誰もが人格と個性を尊重し合いながら、地域共生社会の一員として、自らの意思により自分らしく生きることができるとまちヨコハマを目指す』を基本目標としています。この目標に向かって、貴センターと協力しながら、これからの旭区の未来を一緒に築いていきたいと考えております。

これまでの活動に区として感謝をしつつ、今後の貴センターのさらなる御発展を祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



新ほっとぽつとをよろしく！



旭区生活支援センターほっとぽつと施設長 田中 梨奈

この度ほっとぽつとは、会員をはじめ皆様のご協力のおかげで無事移転を完了することができました。正式名称も「旭区生活支援センターほっとぽつと」となり連絡先も変わりました。

新ほっとぽつとは広くきれいで快適です。会員の皆様はじめどなたさまもぜひ見いらして下さい。

市内センターとして初めての移転、新要綱・新基準での移転第1号は、簡単な道乗りではなく5年余の時間をかけて実現しました。

物件探しは難航し正直あきらめかけたこともありましたが、資金計画、基準面積等の調整、行政との打合せも慣れない中、理事中心に手探りで進めて来ました。

その間沢山の方々に言葉で言い尽くせない位支えていただきました。

まず、ご理解のある土地建物のオーナー様に出会えたこと、行政（区・市）は何回も足を運び強力なバックアップをしてくださり、鶴ヶ峰地区町内会連合会をはじめとする地域・近隣の皆様は初期から協力的で、会合で緊張しながら挨拶させて頂いた時には、反対や不安の声はなく、逆に拍手や励ましの言葉を頂き、感涙したほどでした。設計施工業者、仲介業者、関係機関、何より利用者、ご家族、会員の皆様にはご心配と共に多くの励ましを頂きあらためて感謝申し上げます。

職員も通常業務を続けながら、準備、引越し、片付け、内覧会、新規運営のルールづくりと眼も回るような日々でしたが、一致団結して、引越し当日も電話相談を続け、休所せずに運営できました。10月7日（土）、8日（日）引越し当日は天候にも恵まれ、健康福祉局より 坂井係長と職員の方、旭区高齢障害支援担当 篠崎係長もボランティアでお手伝いに駆けつけて下さいました。10日から開所し12、13日は関係機関向け、14日は近隣向けの内覧会を行いました。3日間で121名の方が来て下さいました。見学者の方々からは「広い・きれい・設備が充実してる」等の感想をいただきました。また、利用者の皆さんの感想は「広い」「おひとり様席がいい」「風呂がゆったりしていい」「駅から近い」「仕組みが変わり慣れるまで大変」「禁煙がづらい」等です。

さて、新しいほっとぽつとにはこの1か月毎日平均すると10数名の方が来ています。ランチや各種プログラムも再開しました。タウンニュースに取り上げて頂いた効果もあってか、連日新規相談の方があり訪問も増え、見学会や講師の依頼もいただいています。

今、あらためて原点を確認してみると、生活支援センターの目的は、「…精神障害者の社会復帰と自立及び社会参加の促進を図るとともに、精神障害者に対する理解の促進を図ること」（横浜市要綱）であり、共に歩む市民の会の目的は「心の病を持つ人及びその家族に対して、生活支援に関する事業を行い、彼らが地域で安心して、より自立した生活を営むことに寄与すること」（定款第3条）にあります。

旭区には、前ページに國分課長が書かれている通りの特徴や、それに伴うメンタルヘルスの課題があり、まだまだ困っている方が沢山埋もれています。新しい施設で、今まで以上にしっかりと責任を果たし、みんなが行き来し笑顔になれる気持ち良いほっとぽつとを目標に職員一同努めてまいりますので、引き続き皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。



ほっとぽっと通信

◇みなさまへのご案内

- ・入館時は窓口で受付をして下さい。「登録カード」をお預かりし退館時に受取ってお帰り下さい。
- ・室内履き持参をお願いしております。お忘れの方はスリッパをお貸ししますのでお申し出下さい。
- ・手指消毒、検温は任意ですが、マスク着用を推奨しておりますのでご協力をお願いします。
- ・食事提供について ランチを火・木曜に、定員8名で実施しています。ルールが変更になっています。
- ・原則駐車・駐輪はできません。（身障者専用はあります）
- ・敷地内、路上も禁煙です。

◇ご報告 10/30 旭区ふれあい卓球大会に卓球サークルが参加し【準優勝】しました。（拍手）

◇第25回旭区精神保健福祉セミナー予告 令和6年3月9日(土)午後 旭公会堂 体験発表、講演(芸人)

メゾンほっと通信

おかげさまで開設し10月で1年を迎えることができました。

入退去者の動きや課題も多くグループホーム運営の難しさを痛感している今日この頃です。

これからの1年は前年の課題をクリアし地域の方々の信頼を得られるように精進していきたいと思しますので今後ともよろしくお願い致します。

【第91回臨時理事会報告】

◇日時 2023（令和5）年7月1日（土） 13時00分～

◇場所 旭区生活支援センターほっとぽっと 別館 サロン

審議事項

- （1） 理事長及び副理事長の互選について

【第92回理事会報告】

◇日時 2023（令和5）年7月27日（木） 午後5時30分～

◇場所 旭区生活支援センターほっとぽっと 別館サロン

審議事項

- （1） 非常勤職員・アルバイト職員就業規則の一部を改正する規定について
- （2） 特定非営利活動法人共に歩む市民の会 慶弔金規程（案）について
- （3） 共同生活援助（包括型）運営規程の一部改定について
- （4） グループホーム運営委員の委嘱について
- （5） 担当理事の業務分担について
- （6） 令和6年度旭区生活支援センターほっとぽっとの事業計画及び収支予算について
- （7） 事業所の名称変更について

【第93回臨時理事会報告】

◇日時 2023（令和5）年8月31日（木） 午後5時30分～

◇場所 旭区生活支援センターほっとぽっと 別館サロン

審議事項

- （1） 臨時総会の開催について

【臨時総会報告】

◇日時 2023（令和5）年9月28日（木） 午後5時30分～

◇場 所 鑑橋自治会館

議案1号 「特定非営利活動法人共に歩む市民の会定款の改正」

改正前	改正後
(事務所) 第2条 この法人は、主たる事務所を神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰二丁目2番4号に置く。	(事務所) 第2条 この法人は、主たる事務所を神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰一丁目29番地1に置く。

【第94回理事会報告】

◇日 時 2023（令和5）年10月26（木） 午後6時～

◇場 所 旭区生活支援センターほっとぽっと 多目的室

審議事項

(1) 上半期会計報告及び下半期の計画について

市民の会・ほっとぽっと・メゾンほっと

■人事 職員入職 佐藤極美 4/1～ ほっとぽっと週4日、メゾンほっと週1日

吉山舞 6/1～ ほっとぽっと週5日

職員退職 岩井美穂 8月末で非常勤職員を退職し、9月より週1日のアルバイト

■ぴあくらぶ ・仲間同志のつどい 11/21(火) 12/19(火) 14時～多目的室

移転に際して御礼申し上げます

この会報で皆様に寄付の呼びかけをさせていただきましたが、おかげさまで無事に移転が完了いたしました。寄付金だけでなく、開所の際には祝電、お花、お菓子等陣中見舞いもいただき、改めて御礼申し上げます。

皆様から頂きました寄付金で補助金では購入できない備品等を購入することができました。本当にありがとうございました。

※常日頃からの法人へのご協力を感謝いたします。

8月～11月までに寄付をいただいた方（敬称略）

金品寄付：郡山隆行 瀧本里香 宇田達夫 田中梨奈 鮎澤のり子 前野幸子 日向台病院 小久保良子 岩淵勝昭 曾我新吉 太田慶子 田端久子 岩井美穂 中川久美子 國井正和 丹羽真里 医療法人誠心会 社福法人サポートセンター連 勝澤昭 葦の会 石渡正翁 水上伊公子 小川昭男 (株)ルーク 社福法人借恵 玉澤彰英 医療法人紫雲会 都筑区生活支援センター 横山秀昭 北嶋美佳 福田敏光 鈴木励磁 松永立子

編集後記：今年は秋がなく、夏からいきなり冬が来たような陽気ですがそんな夏日の10月、ほっとぽっとの引っ越しが無事に終わりました。新生ほっとぽっとに大いに期待するところです。國井